

《英単語テストについて》

4種の英語テストのうち、単語テストについて補足いたします。

数ある英単語集の中から採択した「システム英単語」に基づくテストを受けていただきます。「シス単」を3回転できるよう、A・B・C計3パターンのテストを用意してあります。(A・Bはそれぞれ全14回、Cは全11回あります。Aを前期、Bを夏期から後期序盤まで、Cを後期の残り期間で回していきます)

「シス単」には、見出し語を含む短いフレーズが記載されており、見出し語の重要な意味に加えて、入試で狙われやすい連語を覚えられるよう工夫して作られています。さらに、他の主要な単語集と比べて、重要な語法情報が多く記されています。

そのような「シス単」の長所をうまく活用できるよう、当テストを作成しました。したがって、ただ単に「見出し語の意味を答えてもらう」といったよくありがちな形式ではなく、重要な連語・語法知識、自動詞と他動詞の区別、スペルの似た他の紛らわしい単語との区別などを問う出題も含んだ、わりとハードな内容になっています。

また、「シス単」には掲載されていないけれども、見出し語に関連する重要な熟語知識(「英熟語 always1001」に掲載されているもの)を問う出題も一部含まれています。(別途行う熟語テストの出題内容と重複する部分があります)

A⇒B⇒Cと回を追うごとに出題の負荷を上げていますが、1周目に行うA問題でも、英語があまり得意でない方だと、結構きつく感じるかもしれません。

現実的には、当テストの準備に充てられる時間は限られており、その中で精一杯努力しても高得点をとることは難しいかもしれませんが、それでも構いません。

大事なのは反復することです。「シス単」本体と共に、当テストを反復することで、入試本番に間に合うように、徐々に知識を増やしていけばよいのです。その努力は必ず、貴方の英語力を飛躍的に引き上げる原動力になります。

次ページ以降に、当テストのサンプルを記します。基本的には、例文として記載されているフレーズの和訳を課す形式が主ですが、前記の通り、重要な連語・語法知識、自動詞と他動詞の区別などを問う出題も含めており、ここではそれらの一例を紹介いたします。解答もつけましたので、ぜひ力試しに解いてみてください。

氏名 _____

_____ 点

- ◇英文または英語フレーズについて、その和訳を完成させなさい。
- ◇英文または英語フレーズについて、和訳に合うように空所を埋めなさい。ただし、語を入れる必要がない場合は“×”を記入しなさい。
- ◇4-1, 4-2については、空所を埋めたうえで和訳を完成させなさい。二つの空所には同じ語が入る。
- ◇8-3については、意味が同じになるように空所を埋めなさい。
- ◇11-2については、意味が同じになるように空所を埋め、さらに和訳しなさい。

1-1. (a) him to go out = (p) him to go out [彼が外出することを許す]

1-2. (f) him () being late [彼の遅刻を許す]

2-1. He worried about me. = He was worried about me.

訳：彼は _____

2-2. He worried me. 訳：彼は _____

3-1. urge him to stop smoking 訳： _____

3-2. persuade him to stop smoking 訳： _____

4-1. apply the rule () every case

訳：すべての場合に _____

4-2. This does not apply () beginners.

訳：このことは _____

5-1. He claims that he saw a UFO. 訳： _____

5-2. We (c) to the factory about the noise. [私たちはその工場に騒音のこと
で苦情を言った]

6-1. A typhoon is approaching () Japan. [台風が日本に接近している]

6-2. a new approach to English education 訳：英語教育の _____

7-1. search () the stolen car [盗難車を捜す]

7-2. search the stolen car 訳：盗難車 _____

8-1. match him in power 訳： _____

8-2. I am no match for her in cooking.

訳： _____

8-3. A red tie will match the jacket.

= A red tie will go () the jacket.

8-4. Those shoes (s) you well. [その靴はあなたによく似合っている]

8-5. These shoes (f) me well. [この靴は私 (の足のサイズ) に合っている]

9. 以下の各英文に用いられている borrow が正しければ "○" を記入し、誤っている場合は正しい動詞を答えなさい。

① May I borrow your dictionary? _____

② Can I borrow the restroom? _____

③ I make it a rule never to borrow money. _____

10-1. I am afraid war will come as a result of this incident.

訳：私は _____

10-2. Her illness resulted () hard work.

= Hard work resulted () her illness. [彼女は働きすぎで病気になった]

11-1. Your advice is of value. 訳： _____

11-2. His help was invaluable. = His help was (p).

訳： _____

11-3. This invention is valueless. 訳： _____

12-1. The war lasted four years. 訳：戦争は _____

12-2. Our food will last a week. 訳：私たちの食料は _____

12-3. the last man who would tell a lie 訳： _____

12-4. He has moved twice in the last year. 訳：彼は _____

12-5. He moved twice last year. 訳：彼は _____

13-1. confirm Darwin's theory 訳： _____

13-2. conform to the rules 訳： _____

氏名 _____

_____ 点

- ◇英文または英語フレーズについて、その和訳を完成させなさい。
- ◇英文または英語フレーズについて、和訳に合うように空所を埋めなさい。ただし、語を入れる必要がない場合は“×”を記入しなさい。
- ◇4-1, 4-2については、空所を埋めたうえで和訳を完成させなさい。二つの空所には同じ語が入る。
- ◇8-3については、意味が同じになるように空所を埋めなさい。
- ◇11-2については、意味が同じになるように空所を埋め、さらに和訳しなさい。

1-1. (allow) him to go out = (permit) him to go out [彼が外出することを許す]

1-2. (forgive) him (for) being late [彼の遅刻を許す]

☞ 日本語では「許す」という共通の表現でも、allow, permit と forgive では使い方が異なります。前者二つは「許可する」と表すこともできます。

2-1. He worried about me. = He was worried about me.

訳：彼は私のことを心配した。

2-2. He worried me.

訳：彼は私に心配させた／私に心配をかけた

☞ 2-1について、右の文の worried は「心配している」という意味の形容詞です。

動詞の worry について、2-1 左の文では自動詞、2-2 では他動詞で使われています。それぞれの意味の違いに注意しましょう。

3-1. urge him to stop smoking

訳：禁煙するよう彼を説得する

3-2. persuade him to stop smoking

訳：彼を説得して禁煙させる

☞ 同じ「説得する」でも persuade は説得が成功したことを含意しています。

4-1. apply the rule (to) every case

訳：すべての場合にその規則を当てはめる

4-2. This does not apply (to) beginners.

訳：このことは初心者には当てはまらない。

☞ apply に出くわしたときは、自動詞・他動詞の区別に注意しましょう。上記の他、「apply for ～：～に応募する」の表現も重要です。

5-1. He claims that he saw a UFO. 訳：彼は UFO を見たと主張する。

5-2. We (**complained**) to the factory about the noise. [私たちはその工場に騒音のことで苦情を言った]

☞ 日本語で「クレームを言う」という表現がありますが、**claim** に「苦情/クレーム」の意味はありません。「苦情」は **complaint** で、「～のことで苦情を言う」は **complain about～** で表します。

6-1. A typhoon is approaching (**×**) Japan. [台風が日本に接近している]

6-2. a new approach to English education 訳：英語教育の**新しい方法**

☞ 動詞の **approach** は自動詞ではなく他動詞です。自動詞に間違われやすい他動詞としては、他に **discuss～** (～について討論する), **enter～** (～に入る), **resemble～** (～に似ている), **marry～** (～と結婚する), **attend～** (～に出席する), **visit～** (～を訪問する) などに注意しましょう。

7-1. search (**for**) the stolen car [盗難車を捜す]

7-2. search the stolen car 訳：盗難車 (の中) を**検索する**

☞ 7-2 のように **search** が他動詞で使われたときの意味に注意しましょう。

8-1. match him in power 訳：**力で彼に匹敵する**

8-2. I am no match for her in cooking.

訳：**私は料理では彼女にかなわない。**

8-3. A red tie will match the jacket.
= A red tie will go (**with**) the jacket.

8-4. Those shoes (**suit**) you well. [その靴はあなたによく似合っている]

8-5. These shoes (**fit**) me well. [この靴は私 (の足のサイズ) に合っている]

☞ **suit** は主に「物や仕事人が人に合っている」、**match** は主に「物と物がうまく調和している」という意味で用います。

9. 以下の各英文に用いられている **borrow** が正しければ "○" を記入し、誤っている場合は正しい動詞を答えなさい。

① May I borrow your dictionary? ○

② Can I borrow the restroom? **use**

③ I make it a rule never to borrow money. ○

☞ 同じ「借りる」でも②のようなときは **borrow** を使えないことに注意しましょう。

10-1. I am afraid war will come as a result of this incident.

訳：私はこの事件の結果として、戦争になることを心配している。

10-2. Her illness resulted (from) hard work.

= Hard work resulted (in) her illness. [彼女は働きすぎで病気になった]

☞ 10-2 の言い換え表現を押さえておきましょう。

11-1. Your advice is of value. 訳：あなたの助言は貴重だ。

11-2. His help was invaluable. = His help was (priceless).

訳：彼の援助はとても貴重だった。

11-3. This invention is valueless. 訳：この発明は価値がない。

☞ 11-2 の invaluable の in が否定を表す接頭語でないことに注意しましょう。意味は真逆です。

12-1. The war lasted four years. 訳：戦争は 4 年続いた。

12-2. Our food will last a week. 訳：私たちの食料は 1 週間もつだろう。

12-3. the last man who would tell a lie 訳：最もうそをつきそうにない人

12-4. He has moved twice in the last year. 訳：彼は最近 1 年間に 2 回引っ越した。

12-5. He moved twice last year. 訳：彼は去年 2 回引っ越した。

☞ 多義語 last の用法は要注意です。以下、少々ややこしいことを記します。

12-1 は lasted の後の前置詞 for が省略されており、この last は「続く」という意味の自動詞です。

「前置詞 for を含む句が期間や距離を表す場合、その for は省略してもよい(ただし、文頭では省略されない)」と

いうルールがあります。〈例〉 We have walked (for) five miles today.

12-2 は、元の形が Our food will last us for a week. で、us と for が省略されています。そして、この last は「～をもちこたえさせる」という意味の他動詞で、直訳の文意は「私たちの食料は私たちが 1 週間もちこたえさせるだろう」となります。

13-1. confirm Darwin's theory 訳：ダーウィンの理論を裏づける

13-2. conform to the rules 訳：ルールに従う

☞ confirm と conform のようにスペルの似た単語を取り違えないようにするには、発音を正しく覚えることが重要です。視覚だけに頼ると、どうしても間違えやすくなります。日頃から、正しい発音で頭の中で読む習慣をつけていけば、取り違えによるミスは防げるようになります。